



令和7年 霜月

城北中だより

城北中学校教育目標

- 思いやりのある生徒
- 真剣に学ぶ生徒
- 健康な生徒

令和7年10月31日発行

中学校区における交通安全の徹底に向けた『協働』の在り方について ～城北小・中学校合同 第2回学校運営協議会における「熟議」テーマ～

校長 和田 卓也

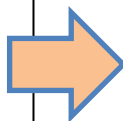
朝・晩を中心に肌寒さを感じる日が増えてまいりました。現在本校は、駅伝部の市駅伝大会への参加も終え、いよいよ11月7日（金）に開催を予定している校内合唱コンクールに向け、熱気を帯びてきているところです。ピロティ等も活用したクラス練習も始まり、歌声溢れる毎日を過ごしておりますが、季節の変わり目ということもあり、体調不良者の増加も気になっております。ご家庭での手洗い・うがい等、健康管理についてもご留意ください。

さて、先日コミュニティ・スクールの推進を目的に、本校において「城北小・中学校合同 第2回学校運営協議会」が開催されました。コミュニティ・スクールとは、学校と地域住民・保護者・行政などが連携して学校運営に参画し、学校を地域と一体となった学びの拠点にする仕組みのことで、さいたま市立学校すべてで行われております。ちなみに昨年度は「中学校卒業段階までに生徒に育みたい力」をテーマに議論を行い、その結果をもとに今年度の「目指す生徒像」を作り上げました。そこで、今年度は、コミュニティ・スクールの大きな目的の1つである「協働」の実現を目指し、「交通安全」をテーマに学校・家庭・地域がそれぞれの立場でできる事について協議を行いました。学校の取組に対しては、通学路環境整備に対する高評価に加え、「生徒たち自身の自主的な取組の必要性」等、今後の取組の在り方について貴重なご意見もいただくことができました。それを受け、学校における交通安全指導については、以下のとおり行っていく予定です。



【これまでの学校の取組】

- 学校周りの通学路環境整備
 - 警察・市の担当課との連携強化
 - グリーンベルト及びミラー等の設置
- 交通安全指導の強化
 - 交通ルールの再確認・日常的な指導



【今後の学校の取組】

- これまでの取組の継続
 - 全校生徒対象の交通安全指導（11月）
 - 状況に合わせた登下校指導の実施
- 生徒会組織を中心とした生徒による安全安心な登下校の実現に向けた体制作り（新規）

今回、交通安全をテーマに熟議を行った理由には

- ① 校区の課題の1つとして「交通安全」があり、市内をみても重大な交通事故が発生していること
 - ② 小・中学校共通の課題であり、小・中一貫の視点で取り組むことに意味があること
 - ③ 「交通安全」は学校だけでなく、家庭や地域も含めて取り組むべき課題であること
- 等がございます。

特に、③については、「学校が自転車通学を許可している以上、自転車の乗り方（左側通行・並走禁止・ヘルメット着用等）はきちんと指導すべき」という関係課署からのご指摘も踏まえ、学校としては通学及び部活動時を中心に指導を行っております。努力義務である自転車のヘルメット着用等、休日における事故防止については、家庭・地域の役割が非常に大きいと考えております。是非「交通安全」指導について、学校に任せるのではなく、家庭・地域の皆様の協働として、「交通安全に対する大人の率先垂範」という視点で取り組んでいただけますようお願い申し上げます。

11月の予定

学 校 ・ 学 年 行 事 等		
3	月	●文化の日
4	火	●後期時間割開始 ●5 時間授業 ●3 年：第2回市学力検査
5	水	●第2回市学力検査予備 ●合唱コン練習(7時間授業)
6	木	●第2回市学力検査回収日 ●合唱コン練習(7時間授業)
7	金	●合唱コンクール@市民会館いわつき
10	月	●全校三者面談(2/5) ●4時間授業 ●部活13:35～ ●合唱コンクール表彰
11	火	●全校三者面談(3/5) ●4時間授業 ●部活13:25～ ●木⑤⑥+火③④
12	水	●全校三者面談(4/5) ●4時間授業 ●部活13:25～ ●金⑤⑥+水③④
13	木	●全校三者面談(5/5) ●4時間授業 ●部活13:25～
14	金	●学校閉庁日(県民の日)
15	土	●チャレンジスクール 9：00 ～ 11：00
17	月	●7・8組②③特別支援学級等の見学 ●専門委員会(後2/6)
18	火	●新人戦表彰 ●小・中合同音楽会（代表学級：PM）
19	水	●学年会
20	木	●市教育研究会一斉研修 ●3時間授業 ●給食なし ●3年期末テスト1日目 ●部活停止期間(28日まで)
21	金	●3年期末テスト2日目 ●4 時間授業
22	土	●チャレンジスクール 9：00 ～ 11：00
23	日	●勤労感謝の日
24	月	●勤労感謝の日（振替休日）
25	火	●学校評価アンケート（生徒対象）
26	水	●朝：学びの指標 2 回目・学校評価アンケート（生徒対象）
27	木	●1・2年期末テスト1日目 ●3 年 6 時間授業
28	金	●1・2年期末テスト2日目 ●④市学調生活調査 ●3 年 6 時間授業

**※今年度の合唱コンクールは、11月7日(金)に、「市民会館いわつき」で実施します。会場の広さの関係で、当該学年の保護者(各家庭1名のみ)の参観とし、入れ替え制になります。
当日は、お車でのお来館や送迎はご遠慮ください。**

毎月10日は安全点検日です。10月の点検の結果、安全上の問題はありませんでした。

さいたま市駅伝競走大会 10月21日



区間	女子
1	大島 穂乃香
2	並木 久華
3	下野 姫菜
4	八鍬 夢叶
5	岩野 茉里奈

区間	男子
1	神田 瑛叶
2	佐藤 遥生
3	浅野 聖凱
4	芳賀 涼皇
5	柚原 悠依
6	佐野 隼仁

総合順位(総合タイム)
男子 58位(01:08'54'')
女子 53位(00:54'41'')



部活動改革リーフレットについて（市教委から）

令和4年12月にスポーツ庁及び文化庁から部活動改革ガイドラインが公表され、さいたま市でも部活動改革に向けた取組が始まっています。

さいたま市では、「まちクラブ」を立ち上げ、「地域クラブ活動」を運営する仕組みを検討しています。

保護者の皆様には、あらためてスク
リレで配信いたしますので、ぜひご覧
ください。

『学校部活動』から『地域クラブ活動』へ

～地域とともにつくる 部活動の新しいカタチ～



活動と地域をつなぐ

R7.10月開行
vol.1

この冊子は、令和7年度にスポーツ庁および文化庁から運動施設費ポスターラインが公表され、中学校の部活動と向き合い活動が盛んに行われていることを示しています。

【部活動の必要性】

・子どもにより、学校部活動を現在と同じ体制で運営することが難しくなっており、学校や地域によりでは存続が困難になり状況である。

・学校の部活動体制が変更になり、教師が顧問を務めるなどの部活動体制を継続することが、より一層難しくなっています。



いままでの部は、運動の楽しさを、全市域の部活動の新しいカタチで実現し、令和7年度から中学校で実施されるとともに、「新しいまちを創出推進スポーツ文化活動推進体制構築研究協議会」を設置し、様々な取り組みを進めています。

また、令和7年度にスポーツ庁から部活動の新しいカタチについて検証をすすめているの？

・子どもたちが、地域の中で育ちの機会に際してスポーツや文化活動を通して、地域と関わりあう機会を増やす。
・スポーツが地域の発展のため、多世代が参加し活動できる文化活動の場を整えるため。

今までと何がかわるの？

※市独自の活動（ペーパー）

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
開催	部活動	部活動	部活動	部活動	部活動	部活動	部活動	部活動	部活動	部活動	部活動	部活動
休校	部活動	部活動	部活動	部活動	部活動	部活動	部活動	部活動	部活動	部活動	部活動	部活動

※市では、休校日から地域クラブ活動が始まります。

『学校活動』と『地域クラブ活動』で何が違うの？

学校部活動		地域クラブ活動
学校	主体	地域
学校施設	場所	学校施設の利用が中心※
教員、部活動指導員 (部活動コーディネーター)	指導者	地域が指定された教員、地域の指導者、等

[illegible]

表彰の記録

さいたま市新人体育大会 陸上競技の部

女子円盤投げ・第8位 枝川 柚羽

さいたま市新人体育大会 剣道の部

男子団体・第5位 上久保 龍 吉原 詩翔 布施 侃太

【県大会出場】 広瀬 琉偉 新里 琉空 稲村 幸大

女子団体・第5位 池之内 優生 菊池 咲希 堤 優空

【県大会出場】 山口 莉央 薄井 日葵 畔柳 結月

男子個人・第3位 吉原 詩翔

ベスト16 布施 侃太

ベスト32 広瀬 琉偉

【県大会出場】

女子個人・第5位 堤 優空

ベスト16 菊池 咲希

【県大会出場】

さいたま市新人体育大会 ソフトテニスの部

女子個人・第9位 吉原 結愛 佐藤 柚希

【県大会出場】

さいたま市学校図書館読書感想文コンクール

推薦賞 矢吹 麻奈

特選賞 伊原 拓海

入選賞 尾柴 咲来 高橋 慧伍

「心を潤す4つの言葉」推進週間

さいたま市では「心を潤す4つの言葉」推進週間を設定しています。各学校において児童生徒・教職員・保護者・地域の方々が、積極的に気持ちのよいあいさつや返事、心をこめた素直な言葉を交わすことによって、一人ひとりの心が通う学校や地域づくりを目指すことを推進しております。

城北中学校区の小・中合同会議では、河合小学校で実施している

「あ・い・さ・つ」のスローガンで、あいさつに取り組んでいくことになりました。すてきなあいさつがあふれる学校にしていきたいと思います。

あ いての目を見て
い つでも
さ きに
つ たわるこえて

